忘年山行２日目　　樹海ネイチャーウォークと紅葉台ハイク

山行日　2022年12月11日（日）
参加者　L　K地、SLY田、Y田、S藤、A原、S木h、K田、W田(e、A柳、T中、FJ
行程　　セイコウ荘8:30＝タクシー＝河口湖駅＝西湖コウモリ穴バス停（ネイチャーセンター）10:00―樹海遊歩道分岐 11:02―11:34 竜宮洞穴 11:50―12:00 紅葉台登山道入口 12:15　―　紅葉台 13:12－三湖台 13:30－13:40 紅葉台 13:55－14:30 紅葉台入口バス停 15:00＝15:30 河口湖駅 16:19=大月=高尾=西国分寺=新松戸

ネイチャーウォークのガイドさんは６０代ぐらいの宮下さんという男性。約２時間、わかりやすくたっぷり樹海の生態系の話をしてくれました。まず、樹海の成り立ちから。富士山の３度の大きな噴火により、大量の溶岩が流れ一続きだった湖が５つの湖(富士五湖)に分断されて西湖ができた、との話にみんなどんどん引き込まれました。青木ヶ原樹海は溶岩流が固まってできた岩盤の上に形成された世界でも稀な森林だとのこと。木は地中に深く根を張れず、横に横にと太い根を延ばして命を長らえてきた。樹海の木々は下草も育たない厳しい環境の中で、必死に生きているのです、という話に樹海の生命力の偉大さが伝わってきました。岩に磁石を近づけて磁針がグルグルまわるのも確かめました。ところで皆さんは「リスのエビフライ」をご存知でしょうか。リスが松ぼっくりの中の実を食べようと、周りの殻をかじった残骸が不思議とエビフライそっくり。標本を見せてもらい、私も早速きょろきょろ探しましたが、残念ながら見つかりませんでした。

さて、ネイチャーウォークのハイライトは竜宮洞穴の見学です。最近のブラタモリの番組でも紹介されたそうです。大きな穴がぽっかりと空き、下を覗くと暗くて深い穴の底の方に祠がまつられているのです。みんなで下に下りて記念撮影。祠の方に向けて写真を撮っていると、虹が薄っすらと写っているのです。心霊写真か、と目を疑ぐりました。周りの湿気と太陽の光線で虹が発生するのでしょうか。その不思議さにみんなビックリ！こうしてあっという間に２時間の樹海ウォークが終わりました。

昼食休憩の後は第二弾の紅葉台と三湖台ハイクです。登山口から標高差で約 200m 登ると、紅葉台の山頂です。いきなりの登りで息をきらしながら着いたらそこは広い駐車場。がっくりです。展望台のある休憩所の中に入ると、ここでハプニング。なんと朝お見送りして頂いた桑原夫妻とバッタリお会いしたのです。山での偶然の出会いってうれしいですね。ご夫妻を囲んで記念撮影をして、私たちは次の三湖台に向かいました。三湖台の展望台からは青い空をバックに、笠雲がかかった富士山や黒岳や鬼が岳などの山々を初め、湖やさっきまで歩いていた樹海もよく見えて感無量でした。

下山路は時間が遅れていたので、予定を変更して紅葉台入口のバス停に向かいました。ところがバスは時間を過ぎてもなかなか来ない。15 分遅れのバスに乗って河口湖駅に着くとすでに予定の電車は出た後でした。急きょ電車を一本遅らせて大急ぎで荷物の整理やお土産を買って、ギリギリまで駅のフードコートで乾杯や腹ごしらえと、最後まで盛りだくさんの山行でした。

リーダーの綿密な下調べや的確な予定変更で、充実した忘年山行を楽しめました。本当にありがとうございました。　　（記　吉田）